

市民・職員参加による後期基本計画の振り返りセッション「事前セッション」会議録

テ ー マ : 4 安全で快適な生活環境の実現

開催日時 : 平成 24 年 11 月 20 日 (火) 18 時~20 時 40 分

開催場所 : 松戸市役所 別館地下研修室

出席者 : 市民の参加 12 名、職員の参加 9 名

【会議内容】

■ オープニング

- ・ 今回の取り組みの背景や趣旨、全体像の確認

■ チェックイン

- ・ 「今の正直な気持ち」や「気になっていること」などの想いを共有

■ 情報の共有

- ・ 松戸の強みと弱みを考えるデータ集に基づき、「基礎編」「政策編」を市の担当者より情報提供

■ 感想・質問の共有

- ・ 人口が減っている話があったが、ホットスポットが原因なのではないか。
- ・ 行政が縦割りになっていることが問題ではないか。
- ・ 政策編のめざそう値について、どこからの出典なのか、どの程度の母数から算出して、この割合になっているのかが分からない。
- ・ 地域の横のつながりがなくなっている。
- ・ 放射能が漏れた際に、すぐに対応していれば被害が防げたのではないか。
- ・ 市民と市の職員が一緒に何かに取り組むことが必要である。市民としては行政に上手に使ってもらいたい。活用してもらいたいという気持ちがある。
- ・ 地域の防災意識に温度差があると思われる。
- ・ 松戸市では分別が進んでいると思う。
- ・ 防災について、自らの地域をどのように守っていくのか普段からの意識や訓練が必要である。

■ 経験の共有

- ・ 再生可能エネルギーの推進を耕作放棄地にメガソーラーを設置するなど民間の協力をもって市は進めて行ってほしいと感じている。
- ・ AED の講習会を住民主体で行っている。
救急車が搬送先の病院につくまで、30 分程度時間がかかり、AED の設置が市内に 353 箇所あるそうなので、消防局に一報したら、近くの設置場所を案内してもらえたらよいと感じた。
- ・ マンションで一人暮らしの高齢者が孤立しないよう交流会を催したり、防災訓練など

をしているが、行政のシステムが縦割になっていると感じている。

- ・町会で防犯、防災、環境、高齢化への対応など活動を行っていて、今後、高齢化が進むと活動を維持することが難しいと感じている。将来の議論が必要だと思う。
- ・奥さんが先立たれた男性を地域の中に出てきてもらうのは、難しい。
- ・市民は、市民の力でうまくやっっていかなければならないが、行政はうまくサポートをやってもらいたい。
- ・震災時徒歩で帰宅。被災者がサービスを受けられることが大切。単独ではなく周りの自治体と連携を。
- ・消防団の活動で訓練が変わっていない。災害も変化してきているので対応したものに変更させたい。
- ・駅に近いところに住んでいる。マンションに変わって緑が減っている。
- ・震災時に何もできなかった。横のつながり、町会の役割、ひとのネットワークを体制づくり。
- ・公園が多い。放射能の除染について高いところがある。子供の遊び場で除染のための草を刈ったら砂ぼこりがひどい。
- ・交通事故予防。警察との連携。本当に事故の多いところでやるべき。
- ・自転車のマナーが悪い。自動車運転の携帯使用。いろいろこわい思いをしている。
- ・地域の付き合い。地域の輪をつくる。
- ・放射線は地域連携のチャンスでもある。
- ・粗大ゴミの振り分けが大変。1か所の集荷施設がほしい。
- ・避難所までの道がない。江戸川は震災時に津波等は大丈夫か。今までの常識ではダメ。
- ・市民からの話が一方通行の話にならないように検証すること。
- ・避難所の看板が倒れている。これでは用をたさない。
- ・学校だけでなく。町内会に1つのAED
- ・市役所職員の誘導でもっと市民を使うべき。協力者を使うべき。
- ・スズメバチの対応が早くよかった。道路ミラーも対応が早かった。
- ・柏市の除染を参考に。
- ・市役所正面玄関入り口の受付がとても良い。
- ・松戸市はゴミの分別が非常に良くなっている。
- ・東日本（3.11）以降地震が非常に心配である。
- ・町会の役割、町会が協働して地域の安全を守るいわゆる「共助」が大事になってきている。
- ・われわれ市民ももっと防災意識の向上に努めなければいけない。
- ・災害が発生した時、個々の事情が分かっていたら共助できないが、「個人情報の保護」に関して敏感に反応し過ぎて、なかなか町会内の住民の情報が得られない状態ある。

- ・ 隣近所にどのような人が住んでいるか分からない。高齢者の方や身体の不自由な方で災害時に支援が必要な人が住んでいるかもしれない。
- ・ 社会の協力体制、社会の連帯性が希薄になってきている。
- ・ 団体行動より個人主義が多くなってきている。
- ・ 社会構成の最小単位である町会の確立。
- ・ 最近の異常気象（地球温暖化の影響）からゲリラ豪雨がおこり、今までにない災害が発生するようになってきた。これまでよりそり一層の防災意識を持つことが大切である。
- ・ 町会の組織、自主防災組織を含めて、市側からもうすこし援助が必要ではないか。
- ・ 消防署に頼んで救命講習を実施してもらった。AEDの使用方法も教わり、応急手当や防災に関する意識が高まった。
- ・ いざというときAEDの設置場所が分からない。町会・自治会に設置してくれればすぐ分かる。
- ・ 松戸宿の記録（江戸時代当時）標識が少ない。歴史あるまちに案内プレート等もっと多くなったらと思う。
- ・ 市立病院が拠点病院としては不満がある。

■ クロージング

- ・ 振り返りセッションのご案内（開催日：平成 25 年 1 月 12 日(土)）

■ チェックアウト

- ・ 本日の感想などの共有

以上